学校番号	402

令和３年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「詳説日本史　改訂版」（山川出版社）						
副教材等	テーマ学習史料日本史(実教出版)　　最新日本史図表(第一学習社) 日本史重要語句ＣｈｅｃｋＬｉｓｔ						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

原始・古代から近・現代に至るまでのわが国の歴史について政治・社会・経済分野などを総括的に学習します。

その際に、考古学や民俗学・文献史学などの文化財・史料を積極的に活用しながら、それぞれの時代の文化の変遷を理解し、現代日本の社会とのつながりを理解します。また、古代より今日に至るまでの諸外国との交流の史実を正確に知ることにより国際人としての自覚を育てたいと思います。さらに、大学入試へ十分対応できる学力の充実もはかります。

2　学習の到達目標

我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察させ、我が国の文化を伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚を国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	歴史的事象と現在との結び付きを意欲的に調べ、考え、歴史を学ぶ意味に気付、関心をもって主体的に学習に取り組めている。 また、現代の社会が抱える諸課題と結び付けて、平和で民主的な世界、国家、地域社会を形成していく主体としての自覚をもって考える態度を身に付けている。	日本の歴史の展開から課題を見出し、世界の歴史や国際環境等と関連付けて、実証的、多角的、多面的に考察している。 歴史的に形成された諸課題について、さまざまな理解・立場があることをふまえて、公正に判断している。	日本の歴史を考察するために必要な諸資料から有用な情報を適切に選択することができる。また、得られた資料や情報を効果的に活用し、歴史を探求する学び方を身に付けている。	単に事象の暗記ではなく、基本的な歴史事象に関する知識を身に付け、各時代の特色を理解している。 その際、日本の歴史の展開を、地理的条件や世界の歴史と関連付けて理解している。
評価方法	定期考査 課題レポート	定期考査 課題レポート	定期考査 課題レポート	定期考査 課題レポート 日本史ﾁｪｯｸﾘｽﾄ

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	日本文化のあけぼの	文化の始まり 農耕社会の成立 古墳とヤマト政権	○ ○ ○	○ ○	 ○ ○	 ○	a:日本列島の誕生や、日本人の形成に関心をもち、縄文・弥生・古墳文化の特色や、ヤマト政権の支配制度を意欲的に学習しようとしている。 b:各文化の特色を出土遺物などの資料から考察し、自らの考えを適切に表現している。 c:考古資料などを観察し、用途や変遷などの情報を的確に読み取っている。 d:旧石器時代・縄文時代・弥生時代の生活の様子と大陸との交流の様子や、中国史書から弥生・古墳時代の社会やヤマト政権の支配体制について知識を身に着けている。	定期考査 課題レポート 日本史チェックリスト
	律令国家の形成	飛鳥の朝廷 律令国家への道 平城京の時代 天平文化 平安王朝の形成	○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	a:厩戸王や蘇我氏の国政改革や律令国家の動向など朝廷政治の成立過程を意欲的に追及しようとしている。 b:律令国家の直面した課題について東アジア世界の大きな変動の中で国政改革の歴史的背景について自らの考えを表現できる。 c:憲法十七条や中国王朝への遣使、改新の詔などの史料を読み込み、政治背景を理解できる。 d:律令国家の形成にいたる政治的事件について理解し、律令体制の動向に関する知識理解を身につけている。	定期考査 日本史チェックリスト

	貴族政治と国風文化	摂関政治 国風文化 地方政治の展開と武士	○ ○	 ○ ○	○ ○ 	○ ○	a:藤原氏が摂関政治で政権を独占するにいたった歴史的背景について関心を持つ。 b:大陸文化を消化し、日本の風土や生活に適応した文化について自ら考察し実感できる。 c:絵巻物などの絵画資料を活用し平安貴族の生活を実感できる。 d:摂関政治の特色について理解し、地方政治の大きな転換と武士団の形成に関する基本的な知識を身につけている。	定期考査 日本史チェックリスト
	中世社会の成立	院政と平氏の台頭 鎌倉幕府の成立 武士の社会 蒙古襲来と幕府の衰退 鎌倉文化	 ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a:武士団の成立関心を持ち、源頼朝のもとに武士が結集し、鎌倉幕府成立過程を意欲的に追及しようとしている。 b:さまざまな資料が示す武士の姿について考察し、自らの武士社会に対する理解を適切に表現している。 c:一遍上人絵伝から武士の館や市井の様子を適切に読み解くことができる。 d:鎌倉幕府の機構や北条氏の台頭、蒙古襲来といった政治の盛衰を適切に理解することができる。	定期考査 日本史チェックリスト

	武家社会の成長	室町幕府の成立 幕府の衰退と庶民の台頭 室町文化 戦国大名の登場	 ○	○ ○ 	 ○ ○ ○	○ ○ ○ 	a:建武の新政から室町幕府の成立・衰退までのそれぞれの時代の課題を意欲的に追求することができる。 b:室町時代を倭寇の活発な動きや日明貿易の展開を考察し、琉球・蝦夷地を含めた東アジア世界について適切に表現することができる。 c:惣掟の史料や徳政碑文などの金石文を活用して当時の社会情勢を適切に読み取ることができる。 d: 建武の新政から室町幕府の成立・衰退までの歴史的推移理解し、幕府のしくみや地方支配の様子などに関する知識を身につけている。	定期考査 日本史チェックリスト
	幕藩体制の確立	織豊政権 桃山文化 幕藩体制の成立	○ 	 ○ ○	○ ○ 	○ ○ ○	a:織田信長や豊臣秀吉の統一事業や江戸幕府の組織や幕藩体制をめぐる課題を追求しようとしている。 b:近世社会の身分制の確立や農民統制の各種法令などの背景を考察し、表現できる。 c:刀狩令の史料などから秀吉の意図や近世身分社会を適切に読み解きくことができる。 d:織豊政権から幕藩体制の形成の知識を理解するとともに、桃山文化の特色を写真や図版から理解する。	定期考査 課題レポート 日本史チェックリスト

後期	幕藩体制の展開	幕政の安定 経済の発展 元禄文化	○ ○	○ ○	 ○ ○	○	a:文治政治への転換から元禄時代・正徳の治をとりあげ、幕府の安定過程を意欲的に追及しようとする。 b:綱吉の政治や正徳の治の特色について自らの言葉で適切に表現できている。 c:農具などの絵画資料から農業生産の進展読み解くとともに、図表などから貨幣・金融制度の確立による商品経済の進展、三都の発達に見える都市の経済的繁栄を読み解く。 d:武断政治から文治政治に推移した理由を理解し、綱吉の政治や正徳の治に関する基礎的な知識を身につけている。	定期考査 日本史チェックリスト
	幕藩体制の動揺	幕政の改革 幕府の衰退 化政文化	○ ○ ○	 ○	○ ○	○ ○	a:欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕府の対処をふまえ、幕府が衰退していく過程を意欲に追求することができる。 b:幕政改革が進められた背景をしっかり考察し、１９世紀に内外の危機が深まっていった様子を自らの言葉で表現することができる。 c:幕藩体制に批判的な化政文化、洋学、国学など新たな学問・思想の起こり、浮世絵などの出版文化の発達に着目して文化の近代化の芽生えを考察することができる。 d:幕政の改革と幕府の衰退の過程を統括的に整理し、理解する知識を身につけている。	定期考査 日本史チェックリスト

	近代国家の成立	開国と幕末の動乱 明治維新と富国強兵 立憲国家の成立と日清戦争 日露戦争と国際関係 近代産業の発展 近代文化の発達	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:開国から明治維新に至るまでの過程について、国際社会とのかかわりに関心をもって考察することができる。 b:明治期の強力な中央集権体制の思考の中での立憲国家の基盤形成と対外政策を考察し、自らの表現することができる。 c:修好通商条約や五箇条の誓文、などの史料をしっかり読み込み、明治維新にいたる過程を理解することができる。 d:明治の近代国家成立のを整理し、立憲国家形成過程の基礎的な知識を身につけている。	定期考査 日本史チェックリスト
	二つの世界大戦とアジア	第一次世界大戦と日本 ワシントン体制 市民生活の変容と大衆文化 恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:第一次世界大戦前後の政治の動向・対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえ意欲的に考察することが出来る。また、第一次世界大戦後の恐慌から軍部が台頭するまでの過程に関心を持ち意欲的に考察することができる。 b:様々な社会運動に目をむけ、普選運動・護憲三派内閣の成立・治安維持法などに着目して考察・表現することができる。 c:図表・グラフなどの資料から第一次大戦中の日本経済の発展やその後の恐慌に至るデータを適切に読み取り、時代背景を理解することができる。 d:第一次世界大戦後の政治や外交の動向と軍部の台頭に関する基本的な知識を身につけ、第二次世界大戦の勃発に至る流れを理解し、考察することができる。	定期考査 日本史チェックリスト

	占領下の日本	占領と改革 冷戦の開始と講和	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a:日本国憲法の成立についての関心を持ち、占領期の日本とその後の東西冷戦におけるアメリカの占領方針の変換を東アジアの視点から意欲的に追求することができる。 b:財閥解体や農地改革、教育の民主化や新憲法の制定などの背景を考察し、自らに言葉で表現することが出来る。 c:冷戦下の国際情勢について、関係地図や図表から情報を適切に読み取り、理解することができる。 d:日本の占領政策における民主化の方針を理解し、諸改革に関する基本的な知識を身につけるとともに、冷戦開始後の東アジア情勢の変化と日本の経済復興・国際社会への復帰について理解を深めている。	定期考査 日本史チェックリスト
	高度成長の時代	55年体制 経済復興から高度成長へ	○ ○	○ 	 ○	○ ○	a:独立後の日本の政治について５５年体制から安定した保守政権となるまでの過程に関心をもち、意欲的に課題を追求しようとしている。 b:日本の国連加盟、アメリカ・ソ連・中国・韓国との関係に着目し、冷戦構造の雪解けに状況を考察し表現することができる。 c:日本の経済復興から高度経済成長に至る過程をデータを読み取りながら理解することができる。 d:戦後日本の政治・経済の動向を総合的に理解し知識を整理できる。	定期考査 日本史チェックリスト

	激動する世界と日本	経済大国への道 冷戦終結と日本社会の動揺	○ ○	 ○	○	○ ○	a:戦後政治の枠組みとして機能していた５５年体制の崩壊に関心を持ち１９９０年代以降の世界と日本についての課題を意欲的に考えることができる。 b:今日でも世界各地で紛争が多発している背景を考察し、冷戦終結後の国際社会の変動について考察し、自らの言葉で適切に表現することができる。 c:日本経済の現状と課題について、グラフなどのデータから読み取り考察することができる、 d:１９９０年代からの政治と経済の動向を今日の状況につなげて知識理解ができている。	定期考査 日本史チェックリスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。